

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年05月27日

計画の名称	新居浜港における海岸保全施設の適切な維持管理の推進（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	新居浜市												
計画の目標	海岸保全施設の長寿命化計画を策定し、老朽化対策を実施するとともに適切な維持管理を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	139	A	139	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	長寿命化計画の策定が必要な海岸保全施設に対し、計画策定を行った割合の向上。 海岸保全施設の長寿命化計画策定率 長寿命化計画を策定した施設数 / 長寿命化計画を策定すべき施設数（35施設）	0%	100%	100%
2	緊急に老朽化対策が必要な施設数に対し、対策を行った施設の割合の向上。 海岸保全施設の老朽化対策進捗率 老朽化対策済施設延長 / 老朽化対策が必要な施設延長(460m)	0%	31%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
目標値の海岸保全施設の長寿命化計画策定率及び老朽化対策進捗率は、客観的に判断できる指標のため、整備計画を作成した新居浜港務局にて達成状況を検証し評価を実施	事業終了後
	公表の方法 新居浜市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	海岸保全施設の長寿命化計画を策定し老朽化対策を実施することで、既存施設の延命化を図ることができ、背後地を利用する企業等を護岸倒壊による浸水から守ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も長寿命化計画に基づき老朽化対策など適切な維持管理を行い、海岸保全施設の安全性、利便性を確保する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	長寿命化計画の策定が必要な海岸保全施設に対し、計画策定を行った割合の向上	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	緊急に老朽化対策が必要な施設数に対し、対策を行った施設の割合の向上	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%